



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東
コード番号 6425 URL <https://www.universal-777.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 知裕
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CF0 (氏名) 佐藤 暢樹 TEL 03-5530-3055
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	92,572	0.2	△280	—	△17,131	—	△10,649	—
2024年12月期第3四半期	92,366	△25.6	423	△97.4	△11,974	—	△19,461	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 △21,025百万円 (—%) 2024年12月期第3四半期 △24,042百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△137.42	—
2024年12月期第3四半期	△251.14	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	590,374	348,705	59.1	4,499.95
2024年12月期	632,795	369,731	58.4	4,771.28

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 348,705百万円 2024年12月期 369,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	30.00	—	0.00	30.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,000	△17.3	50	△99.7	△21,000	—	△14,000	—	△180.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の修正については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	80,195,000株	2024年12月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	2,704,139株	2024年12月期	2,704,096株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	77,490,865株	2024年12月期 3 Q	77,490,904株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士または監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想について」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 連結業績予想について	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(4) 追加情報	10
(5) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、グループ全体の売上高は前年同期比で微増にとどまりましたが、セグメント間で明暗が分かれる結果となりました。遊技機事業は、スマートパチスロ及びスマートパチンコの普及拡大を背景に販売が伸長しました。パチスロ機においては型式試験の適合率が低水準で推移するなか、計画通り新機種の投入を実施し、遊技機事業全体の売上高、営業利益ともに堅調に推移しました。一方、統合型リゾート(IR)事業では、オカダ・マニラを取り巻く市場環境は依然として厳しく、当第3四半期においては、海外旅行客の減少等によるVIP及びマスマーケット双方の収益低下が影響し、減収減益となりました。財務面では、為替レートの変動により前年同期に計上した為替差益が為替差損へと転じ、営業外損益に大きく影響しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は92,572百万円（前年同期比 0.2%増）、営業損失は280百万円（前年同期 営業利益423百万円）、経常損失は17,131百万円（前年同期 経常損失11,974百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は10,649百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失19,461百万円）となりました。なお、事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。各業績数値はセグメント間売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

①遊技機事業

当第3四半期連結累計期間における遊技機事業の売上高は41,420百万円（前年同期比 34.6%増）、営業利益は7,832百万円（前年同期比 95.5%増）となりました。

遊技機業界では、スマートパチスロの普及が順調に進み、パチンコホールの期待に応える好調な稼働を継続しており、パチスロ機の市場環境は良好です。パチンコ機においては、ラッキートリガー(LT)3.0プラス搭載のスマートパチンコの市場導入を契機として、スマートパチンコの普及が進展しています。

かかる状況下で当社は、主要タイトルである『沖ドキ! ゴージャス』と『スマスロ マギアレコード 魔法少女まどか☆マギカ外伝』の増産販売、A PROJECT からスマスロ第1弾となる『アレックス ブライト』、『スマスロ/SLOT ドルアーガの塔』等の販売を行いました。パチンコ機においては、パチンコホールより好評を博している『Pハネモノ ファミリースタジアム』の増産販売、LT3.0プラスを搭載した当社グループ初のスマートパチンコ『eシャーマンキング でっけええなver.』『eシャーマンキング』等の販売を行いました。

②統合型リゾート(IR)事業

当第3四半期連結累計期間における統合型リゾート(IR)事業の売上高⁽¹⁾は50,619百万円（前年同期比 16.9%減）、営業損失は3,007百万円（前年同期 営業利益1,996百万円）となりました。また、調整後EBITDA⁽²⁾は9,925百万円（前年同期比 31.7%減）となりました。

当第3四半期において、当社グループが運営する統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」の実績は、前年同期を下回る結果となりました。ゲーミング事業では、エンターテインメントシティでのゲーミング市場全体の落ち込みが続く中、9月には悪天候に伴う来客数への影響も重なり、VIP及びマスマーケットともに、売上高は前年同期比減となりました。また、ホテル・飲食事業においても減収となりました。

なお、Inside Asian Gaming (IAG) Academy Integrated Resort Awards において“Best Poker Room in an Integrated Resort”を受賞しました。

(1) 売上高は、総売上高からゲーミング税及びジャックポット費用を控除したもの

(2) 調整後EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + その他の調整項目

③その他

当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は412百万円（前年同期比 20.1%増）、営業利益は451百万円（前年同期比 20.5%増）となりました。

メディアコンテンツ事業においては、App Store・Google Play にて『アレックス ブライト』のシミュレーターアプリの配信を開始し、ゲームカテゴリの有料ランキングで上位10位以内に入るなど好評をいただいています。月額制サービスの「ユニバ王国」及び基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」では、ゲーム内イベントを常時開催し、新規ユーザーの獲得と満足度向上に努めています。

楽曲配信では、主要サイト Apple Music・Spotify・YouTube Music をはじめとする24のサイトへ『アレックス ブライト オリジナルサウンドトラック』、DJドンちゃんがお届けする『DON BON DANCE』を提供しています。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における財政状態については、以下のとおりです。

総資産の額は、関係会社株式の売却、外貨建資産の第3四半期末レートの評価替えによる減少もあり、前連結会計年度末に比べて42,421百万円減少し590,374百万円となりました。

総負債の額は、連結子会社における長期借入金の返済、外貨建負債の第3四半期末レートの評価替えによる減少もあり、前連結会計年度末に比べて21,395百万円減少し241,669百万円となりました。

純資産の額は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失、為替換算調整勘定の減少もあり、前連結会計年度末に比べて21,025百万円減少し348,705百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①遊技機事業

遊技機業界における市場環境は、パチスロ機においては好調な稼働状況が続くスマートパチスロのシェアが順調に拡大しており、堅調に稼働を継続しています。また、遊技の多様性向上を目的としたボーナストリガー(BT)搭載機の市場投入が開始され、好評価を得る機種も出てきており、今後もさらなる市場活性化に期待が持てる状況です。パチンコ機においては、メーカー各社からラッキートリガー(LT)3.0プラスを搭載したスマートパチンコの市場投入が継続的に進められ、人気タイトルシリーズやアニメ著作権等はスマートパチンコでのリリースが主流となっています。今後のスマートパチンコの普及率の進捗、LT3.0プラスにおけるゲーム性の拡充が市場の活性化につながるものと期待されています。

第4四半期は、ストック機を彷彿とさせる『スマスロ バベル』の市場投入、シリーズ史上最高のスペックを搭載した『スマスロ 沖ドキ! DUO アンコール』の販売を開始しています。また、パチンコ機においては、LT搭載機『Pメイドインアビス 奈落の連環蝕』の市場投入、幅広いユーザーに支持される沖ドキ!シリーズから初のパチンコ化『P沖ドキ! ドキドキ弾丸ツアー』の販売を開始しています。

当社は引き続き、独自性のある魅力的な遊技機創出に努め、遊技機業界全体の活性化に貢献するとともに、販売シェアの拡大に努めてまいります。

(ご参考) 2025年12月期 パチスロ・パチンコ販売台数

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期(見込)
販売台数(台)	18,623	36,966	28,288	30,000

(注) 第3四半期までの実績については、「2025年12月期 第3四半期決算補足資料」

(<https://www.universal-777.co.jp/ir/library/result/>)をご参照ください。

②統合型リゾート(IR)事業

オカダ・マニラでは、ゲーミング事業におけるマーケティング力強化のための人材の採用と育成を行っています。本年9月より、カジノ業界でも手腕が評価されている Shirley Tam 氏を Casino Marketing の Executive Vice President として迎え入れ、彼女のリーダーシップによるカジノマーケティングチームの強化を進め、よりターゲットを絞った季節限定のゲーミングプロモーションを実施し、顧客セグメントに合わせた需要喚起を目指しています。

非ゲーミング事業においては、PEARL WING の客室の一部を改装中であり、お客様にホリデーシーズン前にご提供できるように準備しています。このような継続的な施設の改善に伴い、2年連続で 2025 TTG Travel Awards の “Best Meetings & Hotel Conventions Hotel - Philippines” を受賞しています。また、Klook Partner Awards 2025 において “User’s Choice Award: Hotels” と “Best of Luzon (Tours and Activities)” の2部門において表彰されています。今後もゲーミング、非ゲーミング事業が一体となって、施設全体の魅力度を高めるための取り組みを継続してまいります。

③その他

メディアコンテンツ事業においては、App Store・Google Play にて高品質なシミュレーターアプリを配信してまいります。月額制サービスの「ユニバ王国」及び基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストーリー」においても、サービスの改善、ユーザー満足度の向上に努めてまいります。なお、楽曲配信では、最新機種『スマスロ バベル オリジナルサウンドトラック』の提供を開始しています。

(4) 連結業績予想について

2025年12月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日(2025年11月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,795	27,359
受取手形及び売掛金	5,804	4,427
有価証券	279	137
商品及び製品	2,453	2,608
仕掛品	17,952	16,895
原材料及び貯蔵品	12,944	12,377
その他	16,481	18,183
貸倒引当金	△854	△1,488
流動資産合計	78,856	80,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	359,800	333,431
建設仮勘定	9,665	8,177
リース資産（純額）	51,515	47,474
その他	36,229	32,623
有形固定資産合計	457,209	421,706
無形固定資産		
その他	2,041	2,097
無形固定資産合計	2,041	2,097
投資その他の資産		
投資有価証券	10,250	9,582
長期預け金	9,735	9,159
関係会社長期預け金	38,351	36,086
関係会社長期未収入金	9,967	7,788
その他	30,567	29,507
貸倒引当金	△5,041	△6,772
投資その他の資産合計	93,830	85,352
固定資産合計	553,082	509,156
繰延資産	857	716
資産合計	632,795	590,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,290	5,113
1年内返済予定の長期借入金	948	1,760
未払金	6,020	4,653
未払費用	9,709	8,245
未払法人税等	43	151
賞与引当金	93	337
その他	20,234	16,046
流動負債合計	43,341	36,309
固定負債		
社債	62,913	59,712
長期借入金	62,152	56,198
退職給付に係る負債	1,099	1,368
関係会社長期預り金	14,233	13,392
リース債務	61,420	58,440
その他	17,902	16,246
固定負債合計	219,723	205,359
負債合計	263,064	241,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	18,828	18,828
利益剰余金	342,614	331,965
自己株式	△7,298	△7,299
株主資本合計	354,241	343,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	△37
為替換算調整勘定	15,693	5,275
退職給付に係る調整累計額	△170	△124
その他の包括利益累計額合計	15,489	5,113
純資産合計	369,731	348,705
負債純資産合計	632,795	590,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	92,366	92,572
売上原価	38,470	38,712
売上総利益	53,895	53,860
販売費及び一般管理費	53,472	54,140
営業利益又は営業損失(△)	423	△280
営業外収益		
受取利息	874	556
受取配当金	27	44
為替差益	2,058	—
持分法による投資利益	254	1,621
その他	471	376
営業外収益合計	3,685	2,600
営業外費用		
支払利息	4,083	6,573
社債利息	11,530	5,009
支払手数料	10	6
貸倒引当金繰入額	—	2,015
為替差損	—	5,598
その他	460	247
営業外費用合計	16,084	19,451
経常損失(△)	△11,974	△17,131
特別利益		
固定資産売却益	100	2,981
賠償金収入	—	3,512
その他	8	2
特別利益合計	108	6,496
特別損失		
固定資産除売却損	3	85
関係会社株式評価損	149	4
関係会社株式売却損	—	530
海外投資損失	1,099	—
訴訟関連損失	—	400
特別損失合計	1,252	1,019
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,118	△11,654
法人税、住民税及び事業税	98	180
法人税等調整額	6,244	△1,185
法人税等合計	6,343	△1,005
四半期純損失(△)	△19,461	△10,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,461	△10,649

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△19,461	△10,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	△5
為替換算調整勘定	△4,312	△10,417
退職給付に係る調整額	△146	46
その他の包括利益合計	△4,581	△10,376
四半期包括利益	△24,042	△21,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,042	△21,025
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	13,395百万円	14,592百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	遊技機事業	統合型リゾート (IR)事業		
売上高				
外部顧客への売上高	30,761	60,946	343	92,052
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	671	671
計	30,761	60,946	1,014	92,723
セグメント利益	4,006	1,996	374	6,377

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディアコンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,003
「その他」の区分の利益	374
セグメント間取引消去	△541
全社収益(注1)	314
全社費用(注2)	△5,726
四半期連結損益計算書の営業利益	423

(注) 1. 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない美術館の収入であります。

2. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年1月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	遊技機事業	統合型リゾート (IR) 事業		
売上高				
外部顧客への売上高	41,420	50,619	412	92,451
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	623	623
計	41,420	50,619	1,036	93,075
セグメント利益又は損失(△)	7,832	△3,007	451	5,275

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディアコンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,824
「その他」の区分の利益	451
セグメント間取引消去	△414
全社収益(注1)	120
全社費用(注2)	△5,261
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△280

(注) 1. 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない美術館の収入であります。

2. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。